

取扱説明書

この度は、ナテック製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。ご使用前に本取扱説明書をお読みの上、正しくご使用下さい。お読みになった後は保管して下さいようお願い致します。

安全上のご注意

**⚠ 警告** 下記事項は、無視して誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

- 設置・点検作業は、しっかりとした足場を確保した上で行って下さい。
- 設置・点検作業は、落下防止のネットを張る等安全対策をしてから行って下さい。
- 設置・点検作業は、雨天・強風・雷時等天候の悪い日は行わないで下さい。
- 雷が鳴り始めたら設置したアンテナ・ケーブルには触らないで下さい。
- 電線、煙突の近く等高温になる場所からできるだけ離して設置して下さい。
- 十分な強度がある場所・安定した場所に設置して下さい。
- 腐食しにくい部材に設置して下さい。
- アンテナやアンテナ部品等の落下により、人や物等に危害・損害を与えたりしない場所に設置して下さい。

**⚠ 注意** 下記事項は、無視して誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

- 電波送信中はアンテナに触れないで下さい。
- エレメント・ラジアルの先端で目を傷つけないようにご注意ください。
- 指定周波数以外での送信は行わないで下さい。
- 耐入力以上の電力でのご使用は行わないで下さい。
- 落下させる、無理に折り曲げる、引っ張ったりするなど強い衝撃は与えないで下さい。
- 場所によって取り付け規制がある場合もございます。確認の上設置して下さい。
- 分解・改造はしないで下さい。
- 設置したアンテナ・ケーブル・金具・マスト・ビス・ボルト等に異常・緩み等がないか定期的に点検して下さい。
- 異常があったら、すぐに電波の発射を中止して下さい。

使用上のご注意

- テレビ・ラジオ・他のアンテナからできるだけ離して設置して下さい。
- 周囲に電線・建物等障害物の無い場所で、できるだけ高く見通しの良い場所に設置して下さい。
- アンテナ本体が壁、窓などに極端に近いと、受信感度の悪化につながります。
- 通信先と偏波面を合わせてご使用下さい。
- 電波発射面に金属製ラベルを貼付けしないで下さい。
- ケーブルはコネクターに力が加わらないようにマスト等に固定して下さい。
- 接続する同軸ケーブルはできるだけ短いもので、必ず50Ωのものをご使用下さい。
- コネクター嵌合部は融着テープを巻き防水して下さい。

- △ 電波を利用する機器ですので、不確実性が必ず伴います。ご理解の上ご使用頂くようお願い致します。
- △ 万が一、故障・動作不良・誤動作等が原因で人命・財産等に損害があっても、当社はその責任を負うものではありません。
- △ 本品を何らかのシステムや電子機器等に組込んだり、本来の用途以外でのご使用の場合、いかなる不具合・損害が生じても当社はその責任を負うものではありません。

設置工事について

アンテナの設置には技術や経験が必要です。また、設置場所により危険が伴いますので専門業者にご相談下さい。設置工事の際に起きた、建物の破損・作業に伴う怪我・損害その他どのような場合においても、弊社は責任を負い兼ねますので、ご了承下さい。

本品について

- アンテナ・ケーブル・取付金具をセットにしたVHF帯エアバンド(118~135MHz)受信用アンテナです。
- エレメント・ラジアルがジョイント金具を使用した2段構成になっており、上段エレメント(エレメント2)・下段ラジアル(ラジアル2)を外す事で430~440MHz対応のアンテナとなります。又、上段エレメント(エレメント2)・下段ラジアル(ラジアル2)をカットする事によりその他周波数でも運用可能です。
- 取付金具は弊社製品オールステンレス製L型アンテナ取付金具NB100を使用しております。
- 送信可能周波数(アマチュア無線等)では、エレメント2・ラジアル2の寸法を調整することで耐入力：100Wでの送信も可能です。  
※ エレメント2・ラジアル2をカットした場合は送信前にSWR計等で確認して下さい。

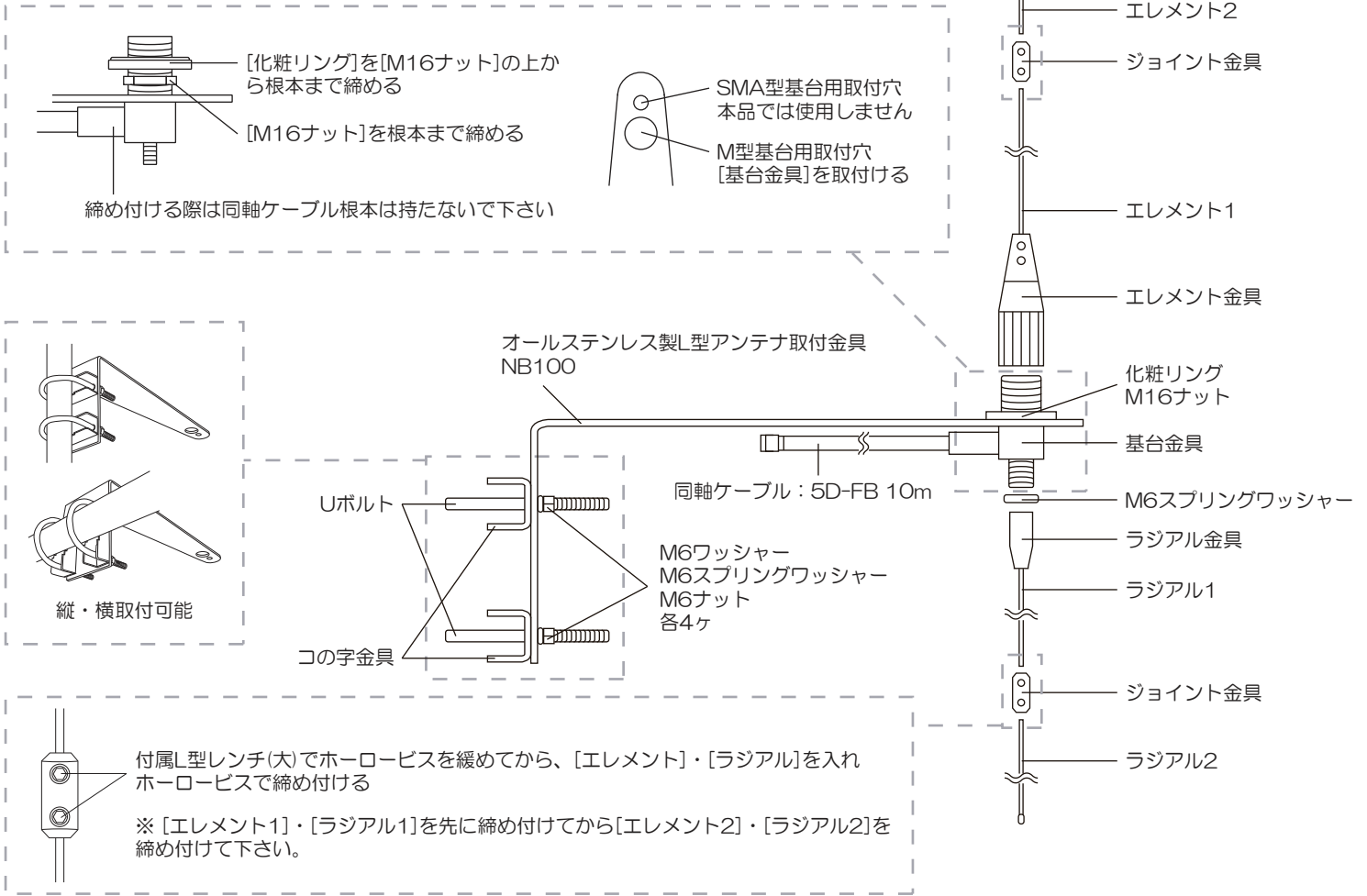
**構成** HS5には、下記内容物が同梱されています。ご使用前にご確認下さい。

- ・製品構成部品は裏面の構成図で確認下さい
- ・L型レンチ(小・大)
- ・変換ケーブル(SMAP-BNCJ)

仕様

| アンテナ部      |                          | 取付金具部(NB100)   |                   |
|------------|--------------------------|--|-------------------|
| 形式         | 1/2λ                     | 外形寸法   | 約250mm×65mm×100mm |
| 周波数        | 118~135MHz/136~440MHz ※1 | 板厚   | 3mm               |
| 用途         | 固定局用                     | 重量   | 約376g ※8          |
| 入力インピーダンス  | 50Ω                      | 垂直耐荷重  | 10kg              |
| 耐入力        | 100W                     | 適合パイプ径   | φ16~45            |
| 接栓         | BNCP ※2                  | ※1 360~429MHz不可 未カット時(カット寸法による)<br>※2 SMA変換ケーブル付属<br>※3 エレメント金具含む<br>※4 未カット時<br>※5 ラジアル金具含む<br>※6 未カット時<br>※7 エレメント(1・2)+ラジアル(1・2)+ジョイント金具(2個)<br>+エレメント金具+ラジアル金具<br>※8 本体部のみ |                   |
| 同軸ケーブル     | 5D-FB 10m                |  |                   |
| エレメント1・2   | 2.5mmステンレス・1mmステンレス      |  |                   |
| エレメント1長・2長 | 約195mm ※3・約450mm ※4      |  |                   |
| ラジアル1・2    | 2.5mmステンレス・1mmステンレス      |  |                   |
| ラジアル1長・2長  | 約142mm ※5・約450mm ※6      |  |                   |
| 重量         | 約90g ※7                  |  |                   |

# 構成図



・ [エレメント2]・[ラジアル2]は同じ部品となります。  
 ・ 出荷時は[エレメント1]・[ラジアル1]と[ジョイント金具]は接続されています。

## ● 118~135MHzエアバンド受信運用する

[エレメント2]・[ラジアル2]を[ジョイント金具]で[エレメント1]・[ラジアル1]に接続して下さい。

## ● 430~440MHzアマチュア無線運用する

[ジョイント金具]・[エレメント2]・[ラジアル2]を接続しないで下さい。

## ● 上記以外の周波数で運用する[エレメント・ラジアル調整]

| エレメント2・ラジアル2長カット表 |       |           |
|-------------------|-------|-----------|
| 周波数(F)            | 長さ(L) | 備考        |
| 143MHz            | 355mm | 狩猟        |
| 145MHz            | 350mm | アマチュア無線   |
| 157MHz            | 300mm | 国際VHF(船舶) |
| 238MHz            | 135mm | エアバンド     |
| 299MHz            | 75mm  | エアバンド     |
| 351MHz            | 30mm  | デジタル簡易    |

計算式：L(mm) = 75/F(MHz) × 1000 - 180

左記表を参考に使用周波数に合わせて[エレメント2]・[ラジアル2]を先端からカットし、ご使用下さい。  
 ※ 先端キャップ・ジョイント金具を外した長さとなります。

### カット時のご注意

ステンレス対応の工具又は、不要な工具(使い捨て)でのカットを推奨致します。

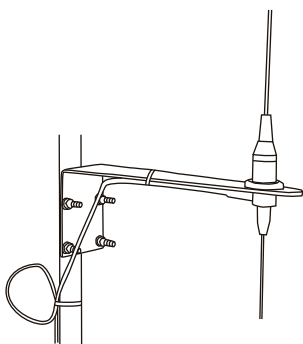
※ [エレメント2]・[ラジアル2]をカットした場合は送信前にSWR計等で確認して下さい。

## ● BNC型無線機(BNCJコネクタ)で運用する

直接接続可能です。

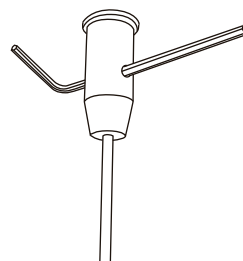
## ● SMA型無線機(SMAJコネクタ)で運用する

付属の変換ケーブルをご使用下さい。



### 同軸ケーブルについて

ループを作る、テープで固定する等の処理をして、[基台金具]に同軸ケーブルの荷重が加わらないような工夫をして下さい。



### ラジアル金具増し締めについて

- ・ 付属のL型レンチをラジアル金具の穴に差し込む
- ・ 差し込んだL型レンチ(小)を回し、スプリングワッシャーが平らになる程度まで増し締めする

※製品向上の為、外観・仕様は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。  
 ※万一初期不良・破損等がございましたら、弊社までご連絡お願い致します。  
 ※本書に掲載されている全ての情報に関する著作権は、株式会社ナテックに帰属します。  
 ※本書の情報を弊社に無断で複製、転用、改変、送信、転載等することは禁止されています。